

# 情報通信工学部

## カリキュラム・ポリシー

(情報通信工学部の統一的教育方針)

本学部では、情報通信工学技術を実践的に教育し、情報化社会の発展に貢献できる人材を育成することを目指しています。そのため、情報通信社会を支えるソフトウェア、ハードウェア、ブロードバンド、マルチメディア、インターネットに関する基盤科目、実験科目がバランスよく含まれたカリキュラムに基づいて、実学教育を実行しています。また、各学科で部分的にクォーター制を導入して、集中学習による学修効果の向上を図っています。

- (1) 数学関係科目においては理工系学部・学科に共通な基礎数学の習得を目指して統一的な科目配置を行い、物理関係科目においては専門学科とのつながりを考慮した物理・力学の習得を目指して学部・学科の特色に応じた科目配置をしています。物理関係では、力学と振動・波動の科目に数学のプレイスメントテストと高校「物理」の履修状況を考慮した習熟度クラスを設けて、無理なく学びながら習熟度アップを目指します。後期に再履修クラスを設けるなど、繰り返し学習する環境を提供し、基礎力向上を図ります。
- (2) 充実したキャリア支援科目は、将来の進路選択をサポートし、幅広い情報通信関連の職業に就けるように作成されています。
- (3) ハードウェアとソフトウェアの両面から情報通信工学を体系的に学び、情報通信技術について深く理解することで、近未来における急激な技術の進歩にも柔軟に対応でき、将来の情報通信システムの発展に寄与できる、真の情報通信技術者を育成します。
- (4) 情報通信をより高品質で快適に行える新世代ネットワークシステムや、携帯電話などをはじめとした通信の性能を飛躍的に向上させる通信方式など、コンピュータネットワークに関する教育・研究を通じて情報通信の未来を担う人材を育成します。

# 情報通信工学部

## ディプロマ・ポリシー

(情報通信工学部の統一的学位授与方針)

情報通信工学部では、各学科における所定の単位を修得し、情報通信工学分野のスペシャリストとして社会に貢献できる以下のような能力をもった者に「学士(情報工学・工学)」の学位を授与します。

- (1) 情報通信工学の基礎知識と高度情報化社会で活躍できる情報収集能力、問題分析能力。
- (2) 実践を通じた問題解決力、高度な情報通信技術者としてのコミュニケーション能力。
- (3) 多様化する社会からのニーズに対応できる自律的かつ意欲的なキャリア形成を目指した総合的能力。